

研究の構想

1 目標・学びの子

研究前の姿より、以下の目標を設定した。

(1) 目標

分からないことを自ら解決できる生徒の育成
～全国・府テストの全教科、府平均 110%の獲得～

(2) 学びの子（目指す生徒像）

- 分からないことをそのままにしない
- 学んだことを説明できる
- 協働的に学び合える



2 研究仮説

分からないことがあれば、人に聞いたり、教科書や辞書等で調べ、解決に努める

分からないことをそのままにしない

身に付けた知識を人に教えたり、言葉にまとめることができる

学んだことを説明できる

考え方を出し合い、課題に取り組める

協働的に学び合える

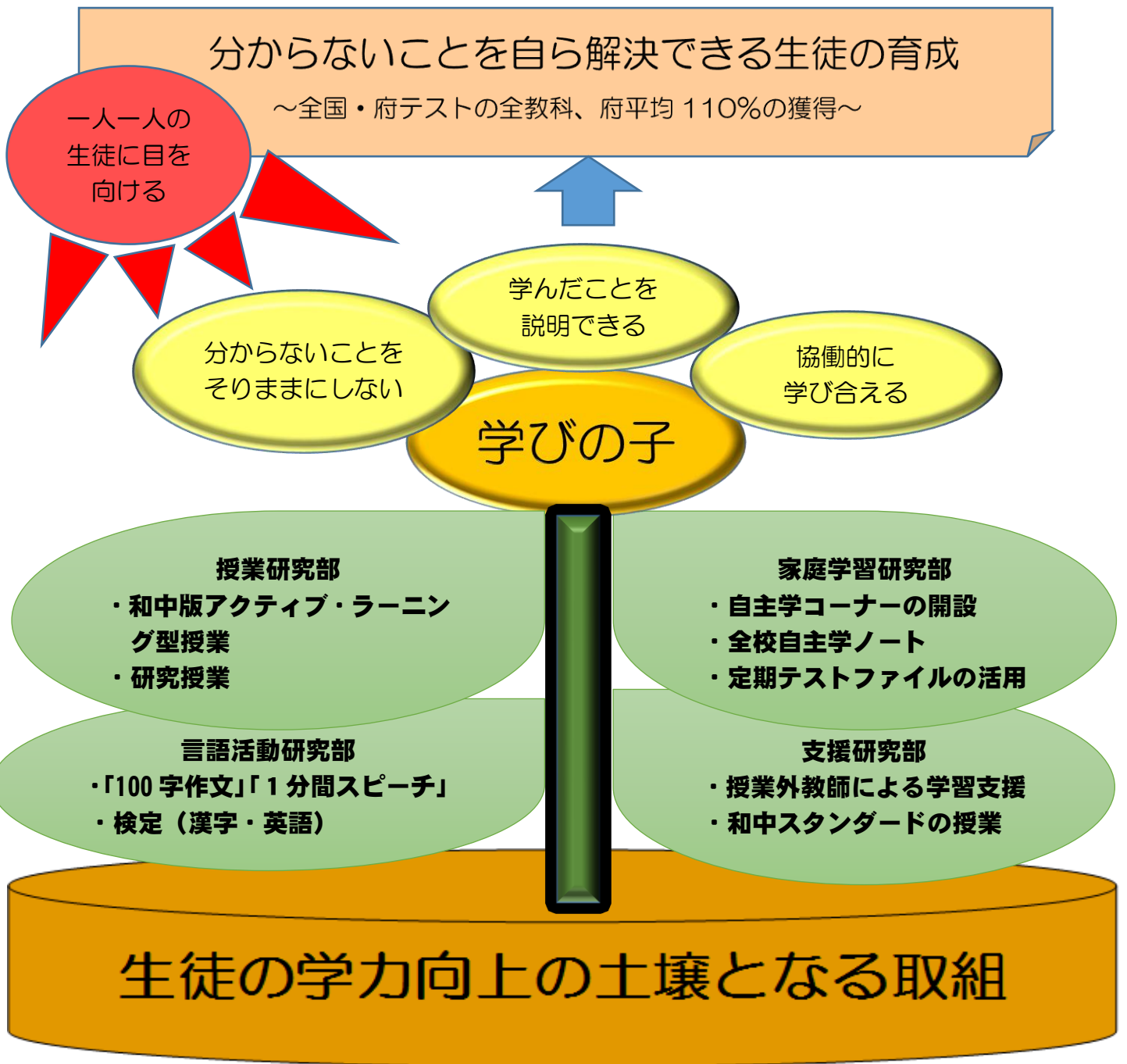
分からないことを自ら解決できる生徒の育成

3 研究内容

- (1) 和中版アクティブ・ラーニング型授業
- (2) 個に応じた支援の方法
- (3) 言語活動
- (4) 家庭学習習慣の定着
- (5) 学び合う場の設定



4 研究構想図



5 研究体制

